



2月1日 豆まき (和寒保育所)



和寒町

- 町民のみなさんと共に歩いて700号 P 2 - 3
- 未来を拓く人づくり推進事業「台湾研修報告」
福祉灯油等助成 P 4 - 5



- 利用しやすい交通手段を目指して! P 6
- 第24回わっさむ極寒フェスティバル P 7



- 国際交流の会冬期ホームステイ受入
東京わっさむ会ふれあい会交流会 P 8
- ジュニアクロスカントリー和寒大会結果、
健康メモ P 9
- TVh西和中継局開局、図書館へいこう P 10
- 年金あれこれ、これからの家庭教育 他 P 11
- 全町レディースミニバレー結果、カメラアイ



P 12 - 13

広報わっさむ 町民のみなさんと共に歩んで 700号

昭和25年5月に「和寒村報」として発行を開始して以来63年間、多くのかたの協力をいただきながら、町民のみなさんと町政をつなぐ架け橋の役割を果たしてきた「広報わっさむ」がこの3月号で700号を迎えました。

これまでの広報誌の変遷をたどりながら600号発行以降の和寒町の歩みについて振り返ってみたい。なお、過去の広報誌は、町立図書館で閲覧することができますので、お気軽にお声かけください。

広報の歩み

町が現在、毎月発行している「広報わっさむ」は、昭和25年5月1日発行の「和寒村報」に始まります。その後、昭和27年には「和寒町報」となり、昭和28年には「町のあゆみ」にタイトルが変わりました。

スタイルは第46号まではタブロイド型（新聞二つ折りの大きさ）でしたが、昭和33年8月からはB5週刊誌型に変わり、平成6年4月の第473号からは現在のA4型になり、文字を大きく、写真を多く掲載できるようになり、より読みやすい広報誌へと変わりました。

←第8号 昭和25年12月発行
タブロイド型両面印刷で発行されました。

この年の和寒町
永山農業高等学校和寒分校（和寒高等学校の前身）が開校、西和14線までバスの運行開始、旭川一名寄線開通



昭和25年頃の和寒駅（左）と大通り（右）

和寒町の歩み (六〇〇号以降のニュース)

平成17年

剣淵町・和寒町合併協議会の廃止。中和小学校、北原小学校閉校。塩狩温泉旅館。第3次行政改革大綱策定。

平成18年

町長選挙 伊藤昭宣氏初当選。名誉町民藤井辰夫氏。学校給食開始。宇北町バス待合所開設。高齢者共同福祉住宅「かたくり荘」オープン。北原交流展示館(旧北原小学校)オープン。

平成19年

行政改革により公共料金・使用料・手数料改正。町有施設の有料化スタート。移住体験事業はじまる。スクールバスの運行開始。町立病院院外処方へ移行。

平成20年

自治基本条例制定。12自治会へ移行。芳生苑、健康苑、体育施設、三笠山自然公園指定管理者制度導入。後期高齢者医療制度開始。

平成21年

わっさむ110年記念事業を実施。和寒小学校改築。和寒小学校体

節目の広報誌

300号 昭和54年11月発行



西和小学校にて草履作り

B 5週刊誌型 8ページ

当時、歩け歩け運動が年間10回行われており、延471名の町民が参加した様子が伝えられました。

特別環境保全公共下水道整備事業着手、町営と畜場廃止、特別養護老人ホーム「芳生苑」増築、ひまわり保育所完成

この年の和寒町

200号 昭和46年5月発行



地方統一選挙の開票時の役場前

B 5週刊誌型 8ページ

地方統一選挙の結果が掲載されました。また、和寒町総合計画が策定され、10年後の“新しい和寒町づくり”がスタートしました。

東陵小学校廃校、電話ダイヤル化、町営バス運行（東和・中和線）、三和小プール完成、西和小改築完成

この年の和寒町

100号 昭和38年1月発行



喜びの寒川橋渡橋式

B 5週刊誌型10ページ

昭和37年の建設事業が紹介されています。また、この頃の広報誌には「芋五郎君」という4コマ漫画が掲載されていました。

市街地区簡易水道各戸給水始まる、北原、三和地区開拓水道完成、国設塩狩スキー場開設

この年の和寒町

600号 平成16年11月発行



パンプキンコンフェスティバル
ランタンコンテスト

A 4週刊誌型12ページ二色刷り発行600号を記念して特集が組まれ、400号以降の和寒町の歩みについて紹介されました。

剣淵町・和寒町合併協議会の設置。三和小学校閉校。町営球場オープン。台風18号被害

この年の和寒町

500号 平成8年7月発行



保育所運動会

A 4週刊誌型10ページ二色刷りカメラアイ・ハローベイビーなどの掲載が始まり、現在まで続いている企画が見られます。

福原小学校休校、全日本玉入れ選手権開催、農業活性化センター「農想塾」オープン

この年の和寒町

400号 昭和63年3月発行



第37回全国高校スキー大会
2年連続優勝

B 5週刊誌型 8ページ発行400号記念特集が生まれ、創刊以降、和寒の歴史を振り返る記事が紹介されました。

第12回世界ジュニア軟式庭球選手権大会和寒テニス少年団個人、団体戦ともに3位、防犯の町宣言、JR和寒駅新築、産業会館完成

この年の和寒町

平成24年
災害時非常持ち出し品配付。テレビ北海道(TVh)和寒中継局開局。パスポート受付業務開始。学校跡地に表示板設置。保育所耐震等改修。広域鳥獣焼却施設着工。木質バイオマス燃料熱源供給施設及び熱源供給施設着工。

平成23年
第5次和寒町総合計画策定。和寒中学校移転。総合庁舎大規模改修工事。お客さま窓口開設。コミュニティFM札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」放送開始。大雨被害対策本部設置。町立病院増築改修。

平成22年
町長選挙伊藤昭宣氏再選。加藤大平選手オリピック出場(複合団体6位入賞)。地域新エネルギービジョン策定。道立和寒高等学校閉校。自治基本条例施行。子育て支援センター「こども館」オープン。

育館完成。加藤大平選手ノルディック世界選手権複合団体で金メダル。加藤大平選手町栄誉賞受賞。札幌自由が丘学園三和高校開校。新型インフルエンザ大流行。

未来を拓く人づくり推進事業

台湾研修報告

平成25年1月5日から9日までの5日間、和寒町未来を拓く人づくり推進事業補助金を活用し、和寒中学校2年生19名が台湾研修に参加しました。研修では、現地の学生との交流などをおし、価値観や考え方、異文化に触れ、貴重な体験をしました。

広報では、参加者を代表して佐伯明紀さんの感想を掲載します。また、参加者全員の感想文集は、公民館で閲覧することができます。



たかおし 高雄市
じゅにんい ごかんりせんかがっこう 樹人醫護管理専科學校の生徒と

○研修参加者

安彦 駿也くん、荒木 拓哉くん、岡 俊之介くん、小俣 一希くん、葛西 博文くん、
菊地 啓太くん、郷 拳太くん、郷 瞬希くん、後藤 利典くん、佐伯 明紀くん、
佐藤 洋斗くん、佐藤結之助くん、高橋 志稀くん、福井 惟之くん、山口 裕大くん、
金谷 羽純さん、須賀 星さん、松村 亜弓さん、米澤 早紀さん

国際交流研修事業に参加して

佐伯 明紀

まずは、なぜ僕が国際交流研修事業に参加したのかという理由は二つあります。まず一つ目は昨年の国際交流研修事業に参加した先輩が絶対に行った方がよいと勧めてくれたからです。二つ目の理由は、僕は人見知りでありしゃべったことのない人などには自分からしゃべることはなくて、仲間あまり深まらないことがありました。そして、人見知りな自分が一番嫌いでした。そこで、この国際交流研修事業の参加を通し、様々な人達と触れ合って少しでも人見知りな自分を改善しようと思ったからです。

次に、研修で一番楽しみだったことは、学校交流です。理由は、学校交流が一番人と多く触れ合えるチャンスだったからです。でも、最初は学校交流なんてしたくないなと思いました。でも、いざ交流してみると現地の中学生と高校生の人達はフレンドリーだったので人見知りの自分でも話せたので良かったです。もちろん学校交流は自分にとっての最大の挑戦でもありました。

次に、出発までに頑張ったことは、冬休みの宿題を終わらせることと、英語です。宿題は研修前に終わったので良かったです。英語は、英語文の多い音楽を聴いたりしていました。だけど、実際台湾ではあんまり英語を使うことができませんでした。

だけど、実際に参加してみてやっぱり良かったなと思いました。そして、友達との仲もすごく深まったのですごく良かったです。また、今回の研修で人とのコミュニケーションは大切だと感じました。

帰国して変わったことは、自分の家の近所の人と会った時などに目を見て、あいさつが出来るようになったので良かったです。

そして、4泊5日という長いようで短い研修で学んだコミュニケーションの大切さ、仲間を思いやる気持ちを忘れずに学校生活に生かしていきたいですし、目標も達成出来たし、人見知りな自分も少しは改善したので良かったです。そして、国際交流研修事業に勧めてくれた先輩や和寒町、引率の先生方、そして送り出してくれた親に感謝しています。



たいべいし だいこう 台北市 大岡中学校生徒とのポーチ作成

♪ 学校交流 ♪

学校交流では、日本でいう高校・専門学校の一貫校である樹人醫護管理専科学校、同年代である大岡国民中学校の2校と交流を行ってきました。

専科学校の日本語学科の生徒のTシャツにはカタカナで「ニホンゴファイト」の文字も！



幼児保育学科で赤ちゃん湯船体験!!



中学生による歓迎の獅子舞



言葉は通じなくても、伝えようとする気持ちが大切だということを学びました！

福祉灯油助成の受付を行っています。お忘れなく！

灯油の価格高騰に伴い、高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯など下記の対象となる世帯に対し、冬期暖房に必要な灯油代の一部を助成する「福祉灯油等購入助成」が2月22日開催の第2回町議会臨時議会で決まりました。

助成の申請は保健福祉センター（保健福祉課福祉係）で受付をしていますので、対象となるかたは、3月11日（月）までに忘れずに申請願います。（代理申請も受付いたします）

1. 助成の対象となる世帯

平成25年2月1日現在、和寒町に住所を有し、平成24年度の町民税が非課税の世帯で下記の①～④のいずれかに該当する世帯

①高齢者世帯 年齢65歳以上のひとり暮らし世帯及び年齢65歳以上で構成される世帯

（平成25年3月31日までに満65歳に達する世帯を含みます。）

②障がい者世帯

（障がい者が世帯主又は世帯構成員となっている世帯、かつ、その者が同居している世帯）

③ひとり親世帯

④生活保護世帯

ただし、同一住所地に親族が居住している場合（同一住居で世帯分離している世帯、2世帯住宅など）、他の世帯から扶養されている場合及び福祉施設入所世帯並びに長期入院者は対象から除きます。

2. 助成額

1世帯当たり、灯油購入券8,000円分を支給します。ただし、灯油暖房以外（電気・石炭・薪など）の世帯は商品券8,000円の交換券を支給いたします。

※ 灯油購入券は、豊和産業、信菱興業、JA北ひびき和寒給油所、前川石炭販売、和寒農機、北部ガスセンターで利用することができます。

●助成の決定を受けたら

助成決定通知書



保健福祉センターから自宅に決定通知書が届く



決定通知書が灯油等の交換券となります

灯油暖房



8,000円分の灯油購入券



交換券を給油時に業者に渡してください。代金から8,000円分が助成対象となり、差し引かれた分が請求されます。余剰金がある場合は、次回に繰り越されます。

3月31日までに灯油または商品券に交換してください

灯油暖房以外

8,000円分の商品券

商工会またはホクレンショップのどちらかで交換券と商品券を引換えてください。

商品券で8,000円分お買い物ができます



※商品券への交換は、暖房が灯油暖房以外の世帯のみです。選択することはできません。

利用しやすい交通手段をめざして！「実証実験」

～町営バスの新たな運行方法を検討～

vol 2

先月号に引き続き、町営バスの新たな運行方法として『デマンド方式の実証実験』の内容をお知らせします。現在の運行はダイヤに従って各停留所を経由し運行していますが、デマンド方式は利用者の予約により利用がある場合のみ運行する方式です。

目的：バス運行の効率化と利便性の向上を図るため、現行の運行との利用状況の比較利用者の意見の把握などを行い、最適な運行形態を検討するため実証実験を行うものです。

実施路線：北原線をモデル路線として運行します。

運行方式：1便は、これまでと同じで時刻どおりに各停留所を経由して運行します。

2便以降を『デマンド方式』の運行で実証実験を行います。

デマンド方式の運行により自宅付近での乗降となり、停留所まで歩く必要がなくなります。また、市街地の乗降場所も新たに追加して運行するなどサービスの向上が図られます。



車便 路線名	1便 (午前7時発)	2便 (正午発)	下校便 (午後3時発)	3便 (午後5時発)
北原線 (モデル路線)	各停留所を経由	デマンド方式	デマンド方式	デマンド方式

利用方法：2便以降のバスを利用される場合は、必ず電話で予約をしていただきます。(乗車の際に運転手に予約しても可能です) また、乗車便毎に受付終了時刻を設定します。

バス発車時刻		受付終了時間	備 考
1 便	午前7時	なし	1便はダイヤに従って停留所を定時刻どおり運行するので予約はありません。
2 便	正 午	当日の午前10時	各便受付時間終了後に、概ねのお迎え時間を予約者に連絡します。
下校便	午後3時	当日の午後1時	
3 便	午後5時	当日の午後3時	

利用のイメージ (例)

1 電話をかける



2 予約を受付



3 乗車時刻の連絡 (予約完了)



住所とお名前をお願いします
利用の日時、何時の便ですか
〇月〇日の〇時の予約を受け付けました。
予約時間終了後にお迎えの時間をご連絡します

〇〇さんですね
〇月〇日〇時便は〇時頃お迎えに行きますので準備してお待ちください。この予約はFAXでもお知らせします

7 市街地 (降車)



6 乗り合い



5 乗車地 (自宅付近)



4 バスが迎えに行く



※予約状況によっては乗り合いにならない場合もあります

■お問い合わせ：建設課管理係 TEL 32-2424

「元祖・越冬キャベツの里」 第24回わっさむ極寒フェスティバル

2月3日(日)、大地の広場(カントリーエレベーター横)で、「元祖・越冬キャベツの里」第24回 わっさむ極寒フェスティバルが開催されました。当日はあいにくの悪天候に見舞われましたがイベントは予定通り開催され、町内外から参加されたたくさんのかたがたは和寒の冬のひとときを楽しみました。

アトラクションコーナーではアウトコーリングやニアピンコンテスト、ビン玉世界選手権のほか、子どもに大人気のスノーラフティング体験、雪中に埋まったカプセルを掘り出し、その中に書かれている数字の分だけ越冬キャベツが当たる「越冬キャベツをゲットしよう!」等が催され、それぞれの会場で大変な盛りあがりを見せていました。

毎年大好評の食べものコーナーでは和寒名物の地獄鍋、かぼちゃ串だんごや越冬キャベツを使ったロールキャベツなどが振る舞われ、多くの来場者で賑わっていました。



「ストライクなるか?」
「アウトコーリング」

「スリル満点!スノーモビルでゴムボートを引っ張る」
「スノーラフティング体験」



たくさんの来場者で賑わう食べものコーナー



「和寒名物競技玉入れとピンつりを組み合わせた」
「ビン玉世界選手権」

「子どもたち大はしゃぎ!」
「ジャンボ滑り台」



個性的な雪像が並びました。
手前が雪像コンテスト最優秀賞
三笠山大4年生制作の作品「おんどり」

雪像コンテスト審査結果!

今年は合計20チームの皆さんが参加しました。(敬称略)

順位	チーム名	代表者
最優秀	三笠山大学 4年	山口 孝司
優秀	きかんしゃゴードンとおっさんたち	合田 菊夫
3位	仲良しBチーム	丹羽千恵子
4位	三笠山大学 1年	山口 孝司
5位	加清ファミリー	加清 勇

国際交流の会 冬期ホームステイ受入 7名来町

2月1日から5日間、和寒町国際交流の会（会長 西川賢一さん）が実施している冬期ホームステイ受入事業に、北海道大学に通う中国と台湾の学生7名が参加しました。

学生達は和寒町で、農業体験やスキー体験、極寒フェスティバルへ参加するなど、ホームステイ先の家族とともに楽しい生活を送りました。

最終日前日となる4日（月）には、学生達とホームステイ先の家族が集まり、お別れパーティが公民館で開催されました。パーティでは、学生達が調理したたくさんの中華料理、台湾料理がふるまわれ、楽しいひとときを過ごしました。

ホームステイに参加した学生たちは、「また和寒にきたい」と話していて、中には涙する学生もあり、思い出に残る貴重な体験となったようです。



東京わっさむふれあい会交流会に参加

2月9日（土）、東京都の第一ホテル両国で開催されました第13回東京わっさむふれあい会（村井英樹会長）交流会に和寒町から伊藤町長をはじめ13名で参加をしました。

2年ぶりとなる交流会には、東京都や近郊から会員54名が出席し、総勢67名による賑やかな交流会となりました。久しぶりに顔を合わせるかたばかりで、会場の至る所でお互いの近況について語り合う姿が見受けられ、楽しい一時を過ごしました。



主催者あいさつをする
村井会長



第34回 全道ジュニアクロスカントリー和寒大会

1月26日(土)、和寒東山スキー場 クロスカントリーコースで、第34回全道ジュニアクロスカントリー和寒大会が行われました。

全道各地の小中学生約200名が出席し、午前には個人競技、午後からリレー競技が行なわれ、本町から14名もの選手が参加しました。この日は、吹雪の悪天候となりましたが、選手たちは、全力を尽くし優勝目指して、熱戦が展開されました。

入賞されたかたは次のとおりです。



○個人競技

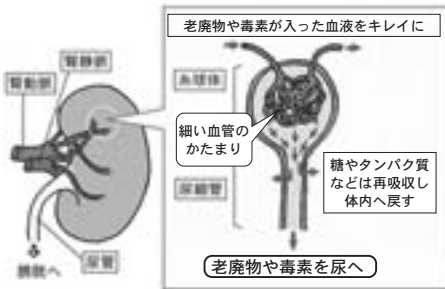
小学3年男子組	6位	吉田 健人
小学4年男子組	7位	合田 優作
小学5年男子組	4位	吉田 悠人
小学5年女子組	3位	松村 美緒
	4位	鬼頭 くるみ
小学6年男子組	5位	村上 伊吹
小学6年女子組	7位	瀬川 結貴
	8位	辻 あすか
中学1年男子組	1位	十川 涼矢
中学2年男子組	4位	鬼頭 壮一郎
中学3年女子組	2位	酒井 結衣

○リレー競技

小学生男子組 6位	和寒スキースポーツ少年団 村上 伊吹 村岡 来玖 吉田 悠人
小学生女子組 4位	和寒スキースポーツ少年団 松村 美緒 辻 あすか 瀬川 結貴
中学生女子組 3位	和寒中学校 中谷さつき 酒井 結衣 鈴木 志穂

(敬称略 和寒スキー少年団、和寒中学校スキー部関係分のみ掲載)

② 血圧を調整する
塩分と水分の排泄量をコントロールし血圧を調整していただきます。



【腎臓の働き】
① 老廃物を体から排出する
血液の中にある老廃物や毒素を尿として取り除き、血液をキレイにします。



『肝腎要』の言葉通り、腎臓は体を正常に保つために欠かせない大切な臓器です。握りこぶし程の大きさで、腰のあたりに左右1つずつあります。

健康メモ

早期発見で腎臓を守ろう

③ 強い骨をつくる
カルシウムを体内に吸収するために必要な活性型ビタミンDを作っています。

- ・ 吐き気
- ・ 息切れ
- ・ むくみ・食欲低下
- ・ 動悸・体がだるい
- ・ 頭痛・尿の回数が増える
- ・ 貧血・顔色が青白くなる

【腎臓の働きを低下させるもの】

- ・ 高血圧・糖尿病・脂質異常
- ・ 疲労の蓄積
- ・ 脱水
- ・ タバコ
- ・ 飲酒
- ・ 感染症(風邪や膀胱炎など)

【腎臓を守るコツ】
血液検査と尿検査で腎臓がどの程度働いているか、おおよそ知ることができます。

生活習慣

に原因があると考えられる場合は、血液検査等の結果に基づいて改善を図りましょう。

具体的には次のようなことがあげられます。

- ・ 高血圧、糖尿病、脂質異常の改善(食事・運動習慣の見直し、治療の継続)
- ・ 脱水をさける
- ・ 1日1.5〜2ℓの水分摂取(1日5〜2ℓの水分摂取、サウナの入りすぎに注意)
- ・ 風邪などの感染症を予防する
- ・ 十分な睡眠と休養をとる
- ・ 必要な薬以外は飲まない(効果の得られないサプリメント等)

検査項目	正常値
血液検査	
クレアチニン	男1.29以下 女1.19以下
GFR*(糸球体過剰)	60以上
尿検査	
タンパク	-
潜血	-

※上表のGFRは年齢によって正常値が異なります。

これらは腎臓の細い血管(糸球体)に大きな負担をかけ、働きを妨げます。

腎臓を守るための具体的な対策は、一人ひとり異なります。詳しくは保健福祉センターへお気軽にご相談ください。

(保健師 吉岡 瑞季)


西和地域でTVh放送が視聴できるようになりました

これまで試験電波を発信しておりましたが、1月21日(月)正式に西和中継局で(株)テレビ北海道(TVh)が開局いたしました。TVhをご覧になるには、お使いのテレビやチューナーのチャンネル設定が必要となりますので、ご確認ください。




図書館へ行こう!

**史上最高齢75歳
芥川賞受賞作入荷!**
「a b さんご」
黒田夏子
2つの書庫と巻き貝状の
小部屋で育ったひと
り児の運命・・・



と一緒に戦後最年少23歳
直木賞受賞作もどうぞ!
『何者』朝井リョウ



今月のBEST本 (1月の貸出回数上位本)

『人質』佐々木譲/著
「北海道警察シリーズ」第6弾。冤罪、そこに端を発した立てこもり事件。その話を軸に警察の腐敗を暴きつつ...



『とんび』重松清/著
ヤスさん28歳、息子が生まれようやく手に入れた「家族」のぬくもり。しかし、その幸福は、突然の悲劇によって打ち砕かれてしまう。



『潜伏者』折原一/著
少女連続失踪事件にまつわる奇妙な小説。証拠不十分ながら服役した容疑者が出所し...



話題の新着本

直木賞受賞作『等伯 上・下』
阿部龍太郎/著
都に出て天下一の絵師になる。武家から養家に出された能登の絵仏師・長谷川信春の強い思いが、戦国の世にあって次々と悲劇を呼ぶ。



『冬の旅』辻原登/著
妻の失踪を皮切りに、緒方隆雄の人生は悪いほうへと雪崩れる。現代を照射する、哀しみの黙示録



『奥の奥の森の奥に、いる。』
山田悠介/著
人里離れた奥地で、政府は密かに悪魔の遺伝子を持つ男女を軟禁し、悪魔を育てる牧場として管理していた...



『無名人のひとりごと』永六輔/著
機知に富んだ風刺、自虐ネタの数々。読みはじめたら止まらない、永六輔のつぶやきの集大成



『ホテル・メランコリア』
篠田真由美/著
人々が語る、横浜の高台にあった小さなホテルの思い出話。そこに隠された秘密とは?

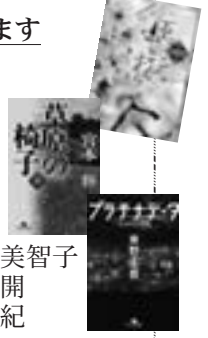


ドラマ、映画の原作本 そろえています

◎NHK大河ドラマ 八重の桜
『八重の桜 前編』他 『幕末銃姫伝』
『新島八重』・『会津歴史読本』
など新島八重関連本多数あります。

◎映画の原作本
『草原の椅子』宮本輝 著 2/23公開
キャスト 佐藤浩一・西村雅彦・吉瀬美智子
『プラチナデータ』東野圭吾 3/16公開
キャスト 二宮和也・堺雅人・中谷美紀

その他にもドラマ・映画原作本多数揃えています



3・4月のイベント情報

- 3/16 14:00～ ポコ・ア・ポコおはなし会
- 3/23 14:00～ おはなし会
- 3/30 14:00～ おはなし会
- 4/6 10:30～ ポコ・ア・ポコ
赤ちゃんおはなし会
- 14:00～ おはなし会

3月22日～30日までわっさむ草花の会による「押し花展示会」を開催いたします。

年金あれこれ

会社などを退職されるかたへ・・・国民年金の加入と保険料の納付はお忘れなく！

60歳未満で会社等を退職される（厚生年金等をやめられる）かたは、2週間以内にお客さま窓口係で加入の手続きをして、保険料を納めていただくことになります。

厚生年金に加入している時
 あなたは…厚生年金保険料等として給料から天引きされていまして、国民年金保険料は個別に納めていませんでした。
 配偶者は…第3号被保険者の認定を受けている期間は、配偶者の加入する年金制度全体で負担していらしたので、国民年金保険料の納付は不要でした。



厚生年金等をやめた時
 あなたは…国民年金の第1号被保険者となります。
 配偶者は…国民年金の第1号被保険者となります。
 ◎保険料は日本年金機構から送付される納付書で納めます。
 ◎保険料の納付が困難な時は、免除申請ができます。

※会社等にお勤めになった時も、同様な手続きが必要になります。

会社にお勤めされたかた

【手続きに必要な物】

- ・会社（事業所）で発行の資格取得証明書
 - ・年金手帳
 - ・印鑑
- ※国保に加入されていたかたは、保険証を返却していただきます。

会社を退職されたかた

【手続きに必要な物】

- ・会社（事業所）で発行の資格喪失証明書
 - ・年金手帳
 - ・印鑑
- ※健康保険任意継続者以外のかたは、国保加入の手続きも行います。

保険料納付を忘れずに・・・納めて安心国民年金

これからの家庭教育

～家読（うちどく）のすすめ～

「家読（うちどく）」とは本を読んで家族でコミュニケーションを深めようという取組です。家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について、語り合い、読書の習慣を共有しましょう。

○本を読むということ

本を読むことは、表現力や想像力が養われ、知性や感性を豊かにします。また、本を読んだ数だけ多くの生きかたや考えかたに触れるため、人生をより豊かに生きることができると言われています。

○本について話をする

家族と同じ時間を共有し、本を通して得られるふれあいは、親子の信頼関係を築き、子どもに満足感を与えます。また、親が本を読む姿を見て育つ子は、自然と読書をする習慣が身につきます。

○家読のやりかた

ルールは簡単で、好きな本を読み、読んだ本について家族で話すことです。読んだ本の記録をしたり、子どもと一緒に図書館に行って本を探してみたり、ご家庭の状況にあわせてお互いに楽しみながらやってみてはいかがでしょうか。



—和寒町青少年育成町民会議—

自衛隊等募集

■受験種目	■応募資格	■受付期間	■試験期日
自衛官候補生 (男子)	18歳以上27歳未満 (採用予定月の1日現在)	年間を通じて 行っています。	平成25年3月9日(土) ※採用計画数に達した場合、試験を実施しない場合があります。
一般幹部 候補生	20歳以上28歳未満 (平成26年4月1日現在) ※学士等取得状況により異なります。	～4月26日(金) ※締切日必着	平成25年5月11日(土)・12日(日) ※12日は飛行要員希望者のみ
予備自衛官補 (一般)	18歳以上34歳未満 (平成25年7月1日現在)	～4月3日(水) ※締切日必着	平成25年4月14日(日)
予備自衛官補 (技能)	18歳以上55歳未満 (平成25年7月1日現在) ※保有する国家資格等により異なります。		平成25年4月13日(土)

■問い合わせ先

自衛隊旭川地方協力本部 名寄出張所
 住所 名寄市西1条南9丁目45(公園通り)
 電話 01654-2-3921

※受験申し込みは、和寒町役場総務課でも対応いたします。



第12回全町レディースミニバレーボール大会

2月10日(日)総合体育館で第12回全町レディースミニバレー大会が開催されました。

大会には、ジュニアの部、ミドルの部、シニアの部の3部門に分かれて合計13チーム60名が参加し、年齢を感じさせない熱き戦いを繰り広げ、すばらしいプレイを見せていました。

成績は次のとおりです。



	ジュニアの部	ミドルの部	シニアの部
優勝	あけみ〜ず♡ 松村あけみ・大野由美子 諸岡光千江・乗田 結香	はまなすび 和久美希子・前鼻いつみ 細田 圭子・佐藤 香苗	年金友の会 本館美智子・澤井 広子 十川富久美・吉原 笑子
準優勝	♡エルメス♡ 垂又 寮子・田住 美樹 斎藤 エリ・池澤 浩子	たんぼぼ乙女組 近藤 弘美・岩城 順子 前本菜津美・栗山ひとみ	ピリ辛姫? 石上 厚子・赤石 和子 斉藤 悦子・兼丸ヒロ子
3位	でこぼこ MIX 中村 美希・弓場奈津子 大場小葉里・川西亜矢子	まじょ〜ず 南雲 純子・伊藤裕美子 中原まり子・三好 敦子 朝日万由美	東 山 吉田 敦子・渡辺多加子 竹本 良子・谷口 真純 東 ヒロ子

まちのニュース カメラ・アイ ~地域の問題をお届けします~



1/18

子どもたちに生きる力を 「健やかな成長を促す家庭・地域・家族の役割」

1月18日(金)、元上川教育局長であり、現在道立旭川美術館館長である 菅沼 肇 氏を講師に招き、和寒町教育力向上講演会が行われました。

参加者たちは、どんな時代でも、子どもたちに生きる力を身につけさせることの重要性や、家庭・地域・学校が一体となって子どもたちを育てていくことの必要性を実感し、有意義な時間を過ごしました。



1/21

越冬キャベツ掘り出し体験

1月21日(月)、和寒小学校3年生20人が農業活性化センターで、JA青年部和寒支部(支部長 今野邦仁さん)の子供農業体験事業による越冬キャベツの掘り出し体験を行いました。

これまで播種、定植、収穫、の3回が行なわれ、今回は掘り出し作業を体験するもので、子どもたちのほかJA青年部員など約30人が参加しました。

作業後は自分たちで育てた越冬キャベツを使ったジンギスカンを味わっていました。



1/27

2013年が良い年でありますように

1月27日(日)、和寒町商工会青年部主催による和寒町民大新年会が公民館恵み野ホールで行われました。

会場には200人を超える町民のかたがたが集まり、鏡割りで始まった大新年会は、三丁杵によるもちつきやバンド演奏、抽選会などが行われ、終始にぎわいを見せていました。



三和高校スクーリング

1月30日(水)から4泊5日の日程で、札幌自由が丘学園三和高等学校の冬季スクーリングが行われ、1・2年生29名が参加しました。

期間中は越冬キャベツ掘り体験や職業体験などを行い、3日に行われた極寒フェスティバルでは雪像作りにも挑戦しました。

生徒たちは初めて体験するキャベツ掘りに目を輝かせ、一生懸命に雪の下からキャベツを掘り出していました。



「早寝早起き朝ごはん

～子どもの生活習慣確立と脳の発達～

2月5日(火)、公民館で北海道療育園 医療主幹 楠 祐一氏を講師に招き、PTA連合会研修会が行われました。

講演では、早寝早起き朝ごはんのリズムをつくるのが集中力や心の安定には不可欠であることなどを、わかりやすく、楽しくお話していただき、参加者たちはメモを取りながら聞き入っていました。



楽しくスキーレッスン

2月9日(土)、10日(日)の2日間、和寒スキー協会主催によるスキースクールが東山スキー場で行われました。

スキースクールには、町内をはじめ、旭川市、士別市などから合計45名の子どもたちが参加しました。なかには、初めてスキーに乗る子どももいましたが、全日本スキー連盟公認のインストラクターの丁寧な指導を受け、リフトに乗って頂上から滑れるまで上達していました。



ゲレンデの安全を守るため

2月10日(日)、和寒スキーパトロール赤十字奉仕団では、東山スキー場で雪上実技研修会を行いました。

この研修会は、スキー場での事故に備えるため毎年実施しているもので、参加した10名の団員は、ゲレンデで転倒した人が人をソリに乗せての搬送や処置など、本番さながらの実技研修に真剣な表情で取り組んでいました。



寒さをぶっとばせ!

2月11日(月)、三和・菊野自治会で「三和しばれぶっとばせフェスティバル&冬の交通安全スポーツの集い」が行われ、同自治会のほか町民約100名が訪れ地域での冬祭りを盛りあげました。

当日は、雪中フラッグやカプセル宝探しなどのゲームや餅つきなどが行われ、厳しい寒さの中親睦を深めました。また、開会式では、三田佑香さん、南なぎささん、安部萌菜さんが「交通安全の誓い」を読みあげ交通安全の呼びかけを行いました。

感謝

☆社会福祉協議会☆

Ⅱ 寄附 Ⅱ

▼天野誠子さん(日ノ出)から亡夫の葬儀に際し、1万円を
▼丹羽サダ子さん(日ノ出)から亡夫の葬儀に際し、社協に5万円、芳生苑に5万円を

Ⅱ 寄贈 Ⅱ

▼野菜・タオル他(芳生苑)
▼加藤 要さん(西和)
▼中山八重子さん(三笠)
▼天野 誠子さん(日ノ出)
▼株明石組(名寄市)
▼佐藤 忠さん(日ノ出)
Ⅱ 慰問(芳生苑) Ⅱ
▼喫茶ルームボランティア
▼如月ボランティア

戸籍の窓

◆おめでとう赤ちゃん

赤ちゃん
お父さん
お母さん

住所

五十嵐俊哉しゅんや
由弥ゆみ
美千代みちよ

三笠

高岡 思惟しゆい
恭子きょうこ

北町

大西 悠太ゆうた
純也じゆん
穂香ほか

北原

◆お悔やみ申し上げます

氏名 年齢 住所

天野 榮路えいじ (66歳) 芳生苑

日下 ミエみえ (93歳) 東町

丹羽 常雄とねお (97歳) 芳生苑

福島 栄三えいざ (62歳) 三笠



放射線量測定結果

測定月	測定値 (毎時マイクロシーベルト)
1月 (平均値)	0.045

※国際放射線防護委員会が示す健康被害の基準は年間換算値1ミリシーベルト以下となっており、測定値に換算すると約0.190毎時マイクロシーベルトです。

平成23年11月以降、和寒町における放射線量の測定結果を広報の最終ページに掲載して参りましたが、測定開始以降、自然環境中の放射線レベル以下で健康に影響を与える状況ではないことから今月号をもって、放射線量の掲載を終了いたします。

今後は、月1回測定を実施し、結果を和寒町ホームページでお知らせいたしますのでご了承願います。ホームページをご覧になれない場合はお気軽に保健福祉センター(電話32-2000)にお問合せください。

ハロ-ベイベー



合田 真まことくん

《H23. 11. 24生まれ》

三笠 合田俊幸しゅんきつ・康代かやさんの二男

合田家の3番目「シン」です。生まれは大阪。生後2カ月の時に和寒に引っ越してきました。

今は保育所に通っていて、たくさんのお兄ちゃんとお姉ちゃんたちに「シンシン」と呼ばれ、かわいがってもらってるよ。最近では体育館でトランポリンに乗せてもらうのが楽しい！早く自分で跳びたいな。



山口 莉生りおくん

《H23. 11. 29生まれ》

西町 山口祐樹ゆうじ・暁子あきこさんの二男

僕、「りお」最近のブームはボタンを押すこと。おもちゃから家電まで、幅広く押しまくります！ボタンを押す時は力が入っちゃうから、つい猪木みたいな顔になっちゃうんだ。

僕、食べるの大好き。好物はトマト♡お兄ちゃんも大好き♡食べちゃいたい！こんな僕だけど、よろしくね♪

発行 北海道 和寒町役場/総務課

■人口	3,833人(△3人)
・男	1,773人(△1人)
・女	2,060人(△2人)
■世帯数	1,772戸(△2戸)
()内は前月対比	
出生	1人 死亡 4人
転入	3人 転出 3人
1月末現在	



古紙配合率50%再生紙を使用しています